

特別養護老人ホーム 緑愛園

広報誌

ひだまり

発行日 令和6年1月15日
発行者 指定介護老人福祉施設
緑愛園
施設長 芦崎 祐公
住所 札幌市清田区
北野1条1丁目6-28
メール ryokuai@hokurou.or.jp

新年のご挨拶～飛躍への助走～

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

能登半島地震に被災された方々の無事を祈りつつ、残念ながら被災及び羽田空港火災の犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたします。

改めて令和5年を振り返りますと、世界では戦争が勃発し日本では世相を表す漢字に「税」が選ばれたように増税や政治家のお金の問題と悲しく悩ましいニュースが記憶に残っていると思います。しかし、喜ばしいニュースとして「大谷翔平 選手」の話題は北海道日本ハムファイターズで活躍していた選手であるため、親近感と誇らしさを感じ「憧れをやめましょう」と言われても憧れてしまいます。

一方私たちの生活に身近な話題として新型コロナウイルスが「5類」に引き下げられ約8ヶ月が経過しました。日本全国コロナ前の状況に戻り、緑愛園でもご家族様の面会を居室まで入館いただけるように変更いたしました。もちろん、インフルエンザも含めて感染症が消えたわけではないため、入館時の手洗い・うがい・マスクの着用は継続してお願いさせていただくことをご理解ください。

さて、令和6年（辰年）は緑愛園にとって“飛躍への助走”の年となります。昨年申請を行っていた緑愛園建替え計画が行政からも承認され、具体的に始動し始めます。ご承知の通り、当施設は築34年になるため老朽化や建物上設置ができない暑さ対策設備、病院のような長い廊下を挟むように居室が作られているなど、昔ながらのつくりであります。このような施設を一新し、より家庭的な雰囲気や入居者様が生活しやすい生活空間を検討しております。また、昨年7月には建替え予定地として「札幌市清田区平岡1条2丁目75-7」を購入しました。現在の緑愛園から約2.5km北広島市方面へ向かいます。少しでも入居者様の引っ越しに対するご負担を軽減し、かつ現在の職員が働き続けられるように“清田の地”“今の近く”を合言葉に探し続けました。今年度中にご家族の皆様へ建替えに関する説明会を開催させていただきたく、別途ご案内する予定です。 末尾になりますが、今年1年が皆様にとって良い年となることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



特別養護老人ホーム緑愛園
施設長 芦崎 祐公

クリスマス会と忘年会

12月下旬に各グループでクリスマス・忘年会を行いました。カラオケ、ハンドマッサージ、じゃんけん大会などそれぞれのグループでレクリエーションを行い、入居者様と職員ともに笑顔で過ごすことができました。昼食にはお寿司やケーキをご用意し、皆様ペロッと完食され「美味しかったよ～」とうれしいお言葉をいただきました。2024年も皆様がお元気で過ごせるように職員一同願っております。



書道レクのお知らせ

1月中旬から下記の日程で書道レクを行う予定です。書道を通して、皆様と季節を感じられる時間になればと思っております。レクリエーション中の面会は可能となっておりますので、この機会にぜひご見学いただければと思います。

1月16日（火）大地の間

1月18日（木）森の間

1月23日（火）虹の間

1月24日（水）風の間

◎各グループ9：00頃から開始予定です。



あとがき

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。先日、4歳年下の弟が成人式に参加し、久しぶりに会う友人と楽しそうに過ごしていました。成人式では初めてマスクを外してみんなと写真を撮ったと話しており、コロナ禍真っ只中は様々なことが制限され我慢が多かったことを思い出し色々考えさせられました。修学旅行や文化祭などのイベントがほとんど中止となり悲しい思いをしていましたが、卒業後の感染状況が落ち着いた頃に旅行に行ったりと楽しい時間を取り戻している様です。まだまだ、インフルエンザやコロナウイルスが流行しており気が抜けない日々が続きますが、皆様体調にはお気をつけてお過ごしください。
(生活相談員 北川)